

オオツチグモ科 (Theraphosidae) 飼育環境における植物選定とビバリウム構築に関する包括的調査報告書

1. 序論: アラクノカルチャーにおける植栽のパラダイムシフト

近年、無脊椎動物の飼育趣味(アラクノカルチャー)において、単に生体を生存させるだけのミニマリスティックな管理から、その生息環境全体を再現し、生態系としての機能を持たせる「ビバリウム (Vivarium)」あるいは「バイオアクティブ (Bioactive)」な飼育法への移行が加速している。特にタランチュラ(オオツチグモ科)は、長寿命であり、かつ環境の変化に敏感な代謝特性を持つことから、植物を用いた環境制御の恩恵を最も受けやすい分類群の一つである。

本報告書は、タランチュラ飼育における植物導入の科学的妥当性、リスク管理、そして具体的な植物種の選定基準について、入手可能な文献および専門家の知見を統合し、包括的に論じるものである。植物は単なる美的装飾ではなく、飼育ケージ内の微気候(マイクロクライメート)を安定させ、窒素循環を促進し、生体のストレスを軽減する「機能的構成要素」として定義される。しかし、その導入には、植物生理学とクモの行動生態学の双方への深い理解が不可欠であり、誤った選定は生体への物理的傷害、中毒、あるいは環境の崩壊を招く危険性を孕んでいる。

本稿では、熱帯雨林から乾燥地帯まで多岐にわたるタランチュラの生息環境に対応した植物選定の戦略を詳述し、特に「安全性」「耐久性」「維持管理」の観点から、推奨される植物種とその管理手法を体系化する。

2. ビバリウムにおける植物の機能的役割と生態学的メカニズム

タランチュラの飼育環境において植物が果たす役割は、物理的、化学的、そして心理的な側面に分類できる。これらを理解することは、適切な植物を選定するための基礎となる。

2.1 湿度緩衝能力 (Humidity Buffering) と蒸散作用

多くのタランチュラ、特に南米原産の樹上棲種 (*Avicularia* 属、*Caribena* 属など) や、アジアの地中棲種 (*Haplopelma* 属など) は、高湿度を要求する一方で、空気の停滞(蒸れ)に対して極めて脆弱である。人工的な霧吹き(ミスティング)は一時的に湿度を上昇させるが、急激な湿度の乱高下を引き起こし、生体に呼吸器系のストレスを与える要因となり得る¹。

生きた植物は、根から吸い上げた水分を気孔から放出する「蒸散作用 (Transpiration)」を通じて、ケージ内の相対湿度 (RH) を自然な形で維持する機能を持つ。この持続的な水分の供給は、ケージ内の湿度勾配 (Humidity Gradient) を形成し、タランチュラが自ら快適な湿度域を選択することを可

能にする²。特にブロメリア(アナナス類)のようなタンクプランツは、葉筒に水を溜めることで局所的な高湿度スポットを提供し、自然界における微気候を再現する上で極めて有効である²。

2.2 窒素循環と土壌の浄化作用(Bioactive Cycle)

「バイオアクティブ」なセットアップにおいて、植物は窒素循環の最終段階を担う重要なフィルターである。タランチュラの排泄物や餌の死骸は、分解者(トビムシやワラジムシなどのClean Up Crew: CUC)によって分解され、アンモニアから亜硝酸塩、そして硝酸塩へと変換される。高濃度の窒素化合物は土壌環境を悪化させるが、植物はこれらを栄養源として吸収し、土壌を浄化する³。

このプロセスにより、床材の交換頻度を大幅に減らすことが可能となり、タランチュラが自身の巣(webbing)やフェロモンによってマーキングした安定した環境を長期間維持することに貢献する。これは、環境変化を嫌うタランチュラにとって大きなストレス軽減要因となる⁵。

2.3 シェルター機能と行動エンリッチメント

植物の葉や茎、根系は、タランチュラにとって自然な隠れ家(Retreat)となる。特にポトスやフィロデンドロンのような大きな葉を持つ植物は、光を遮り、タランチュラが好む暗所を提供する²。また、樹上棲種においては、植物の枝や葉がコルクバークと組み合わせることで、立体的な活動スペースとアンカーポイント(糸をかける足場)を提供し、本来の行動様式を引き出す環境エンリッチメントとして機能する⁷。

3. リスク評価と安全性基準: タランチュラと植物の共存条件

植物の導入にはメリットがある一方で、無視できないリスクも存在する。これらのリスクを排除することが、植物選定の第一条件となる。

3.1 化学的毒性と二次中毒のリスク

タランチュラは完全な肉食性(Carnivorous)であり、植物を直接摂食することは通常ない。しかし、ピバリウム内に投入された餌昆虫(コオロギやゴキブリ)が植物を齧り、その植物毒を体内に蓄積した状態でタランチュラに捕食されることによる「二次中毒(Secondary Poisoning)」のリスクを考慮する必要がある⁸。

3.1.1 避けるべき植物群

- シュウ酸カルシウム含有植物: サトイモ科の一部(ディフェンバキアなど)は、強力なシュウ酸カルシウムの針状結晶を含み、粘膜を刺激する。ポトスやフィロデンドロンもサトイモ科であるが、これらは爬虫類・両生類飼育において長年の実績があり、タランチュラ環境においても一般的に安全とみなされているが、餌昆虫が大量に摂取しないよう管理が必要である²。
- 殺虫成分を持つ植物: 防虫効果を謳うハーブ類や、殺虫剤として利用される成分を含む植物は避けるべきである。
- 樹液に毒性がある植物: ユーフォルビア(トウダイグサ科)の多くは、傷つくと皮膚刺激性の強い

乳液を出すため、タランチュラの体表に付着した場合の悪影響が懸念されるため推奨されない¹¹。

3.2 物理的傷害リスク: 棘と鋭利な葉

タランチュラの腹部(Opisthosoma)は非常に柔らかく、物理的な衝撃や鋭利な物体に対して脆弱である。落下や衝突によって腹部が裂傷を負えば、体液(Hemolymph)の流出により致命的な結果を招く¹²。

- サボテン類の制限: 鋭い棘を持つサボテン(Cactaceae)は、乾燥系タランチュラのレイアウトに使用したくなる植物であるが、導入は避けるべきである。代替として、棘のない多肉植物や、棘座(Areoles)が退化した品種を選定する必要がある¹²。
- 鋭利な葉: サンセベリアの一部(*Sansevieria pinguicula*など)は葉先が鋭い針状になっているものがある。これらも脱皮直後の柔らかい外骨格を持つタランチュラにとっては脅威となり得るため、先端を確認し、必要であれば剪定するか、品種を変更する¹³。

3.3 環境的不適合と病原菌の温床

タランチュラに適さない高湿度環境を強いる植物や、逆にタランチュラが必要とする乾燥環境で枯死する植物は、腐敗してカビやダニの温床となる。

- 過剰な散水: シダやコケの一部は常時濡れた状態を好むが、これを維持するために過度な散水を行うと、土壌が嫌気状態となり、タランチュラにとって有害な細菌や真菌が増殖するリスクがある¹⁴。
- 水没リスク: ブロメリアの葉筒(タンク)に溜まる水は、小型のタランチュラや幼体(Slings)にとって溺死のリスクがあるという議論が存在する。しかし、多くの研究や観察ではタランチュラは疎水性の体毛を持ち水に浮くため溺死リスクは低いとされるが、ボウフラなどの発生源になるため、衛生管理上の注意が必要である⁹。

4. 植物選定の実際: 環境区分別推奨種詳解

タランチュラの生息環境は、熱帯雨林(Tropical)、温帯・雲霧林(Temperate)、乾燥・半乾燥地帯(Arid/Semi-Arid)に大別される。植物選定は、飼育するタランチュラの種が属する気候区分に完全に合致させる必要がある。

4.1 熱帯・亜熱帯雨林環境(High Humidity / Low to Medium Light)

このカテゴリーは、*Avicularia*(ピンクトウ)、*Theraphosa*(ゴライアス)、*Pamphobeteus*、*Cyriopagopus*(アースタイガー)などの種が該当する。湿度70~80%程度、中程度の光量が維持される環境である。

表2: 熱帯環境向け推奨植物群

植物名(和名/学名)	特性・メリット	留意点・管理	推奨タランチュラ
ポトス (<i>Epipremnum aureum</i>)	「悪魔のツタ」と呼ばれるほどの強健さ。耐陰性、耐湿性が高く、成長が早い。クモの巣によるダメージからの回復も早い ² 。	成長が早すぎるため定期的な剪定が必要。気根を出して張り付くため立体的な足場になる。	全般(樹上・地表)
フィロデンドロン (<i>Philodendron spp.</i>)	ポトス同様に強健。葉の形状や色が多様(赤系など)。ハートリーフなどのツル性が使いやすい ² 。	耐陰性が高い。葉がタランチュラの隠れ家として機能する。	樹上棲種
モンステラ(小型種) (<i>Monstera adansonii</i> 等)	マドカズラやヒメモンステラなど。穴あき葉が光を通し、下草への光を遮断しにくい ¹⁸ 。	大型種はケージを圧迫するため避ける。	中型～大型地表種
アスプレニウム(タニワタリ) (<i>Asplenium nidus</i>)	放射状に広がる葉が美しいシダ。葉が硬く、タランチュラの移動に耐える強度がある ⁶ 。	根元の過湿(水没)を嫌うため、排水性の良いソイルに植えるか、コルクに着生させる。	地表棲・樹上棲
イノモトソウ (<i>Pteris multifida</i>)	日本の気候にも合う強健なシダ。株立ちし、制御しやすい ²⁰ 。	巨大化する種(オオバイノモトソウ)は避け、小型種を選ぶ。	地表棲
フィットニア (<i>Fittonia spp.</i>)	網目模様が美しく、地表を覆う。高湿度を好み、乾燥の指標植物(萎れる)になる ² 。	踏圧に弱いため、大型タランチュラの通り道には植えない。	小型種・幼体
ネオレゲリア (<i>Neoregelia spp.</i>)	硬い葉を持つタンクブロメリア。樹上棲種の絶好の隠れ家とな	葉筒の水は定期的に入れ替える。棘(鋸歯)が鋭い種は	樹上棲種

	る ² 。	避ける。	
--	------------------	------	--

深掘り考察: 樹上棲種のための立体配置

Avicularia属などの樹上棲種にとって、植物は単なる装飾ではなく生活の基盤である。コルクバーク(Cork Bark)を背景や側面に配置し、そこにポトスやフィロデンドロンを這わせる、あるいはネオレゲリアを着生させることで、自然界の樹冠(Canopy)を再現できる。この構造は、通気性を確保しつつ湿度を保つ上で理想的であり、タランチュラが安心して営巣できる環境を提供する²²。

4.2 乾燥・半乾燥環境(Low Humidity / High Light)

このカテゴリーは、*Chromatopelma cyaneopubescens* (GBB)、*Grammostola* (ローズヘア/ブルクラ)、*Brachypelma* (レッドニー)、およびアフリカ産のバブーンスパイダー(*Pterinochilus*など)が該当する。これらは乾燥した環境を好み、過湿を嫌うため、植物選定には「乾燥耐性(Xerophytic)」が最優先される³。

表3: 乾燥環境向け推奨植物群

植物名(和名/学名)	特性・メリット	留意点・管理	推奨タランチュラ
サンスベリア (<i>Sansevieria / Dracaena</i>)	極めて強健。CAM植物であり夜間の酸素供給能力がある。乾燥に強く、光量不足にも耐える ⁶ 。	「サムライ・ドワーフ」などの小型・肉厚種が最適。葉先が鋭利でないものを選ぶ ¹³ 。	地表棲全般
ハオルチア (<i>Haworthia spp.</i>)	「十二の巻」などの硬葉系は棘がなく、乾燥と耐陰性を兼ね備える ¹¹ 。	根腐れしやすいため、排水性の高い砂質土壌を使用する。	小型～中型地表種
ガステリア (<i>Gasteria spp.</i>)	葉が厚く、牛の舌のように重なる。非常に頑丈で、タランチュラの隠れ家にもなる ²¹ 。	成長が遅いため、食害(餌昆虫による)からの回復は遅い。	地表棲全般
アロエ(一部) (<i>Aloe spp.</i>)	肉厚な葉。棘が退化した種や、棘が柔らかい種(<i>Aloe vera</i> の小型種など)を選ぶ ¹¹ 。	棘が鋭い種はタランチュラの腹部を傷つけるため厳禁 ¹² 。	地表棲全般

エアプランツ (<i>Tillandsia spp.</i>)	土不要。流木などに着生させて使用。乾燥した空気中の水分を吸収する ³ 。	霧吹き後の水がタランチュラにかからないよう注意。通気性が悪いと腐りやすい。	乾燥系樹上種・地表種
トックリラン (<i>Beaucarnea recurvata</i>)	根元が膨らみ水分を貯蔵する。葉が細長く、乾燥に強い ⁶ 。	大型化するため、幼苗を小型ケージで使用するか、剪定で管理する。	地表棲

深掘り考察: 乾燥系ビバリウムの難しさ

乾燥系ビバリウムは熱帯系よりも維持が難しいとされる。植物は光合成のために光を必要とするが、乾燥系植物(多肉植物など)は一般に強い光を要求する。一方でタランチュラは光を嫌う(Photophobic)。このジレンマを解消するためには、耐陰性のある多肉植物(ハオルチア、ガステリア、サンスベリア)を選定し、かつスポットLEDを用いて植物にのみ光を当て、タランチュラのシェルター周辺は暗く保つという「光のゾーニング」技術が必要となる⁴。

また、地表棲タランチュラは「ブルドーザー」のように床材を掘り返す習性があるため、植物は根付くまで鉢ごと埋めるか、石や流木で根元をガードする必要がある²⁸。

4.3 コケ植物(Bryophytes)の選定と管理

コケはビバリウムの美観を劇的に向上させるが、タランチュラ飼育においては「維持の難易度」と「環境不適合」が最大の課題となる。多くの美しいコケ(特に水草由来のウィローモス等)は、タランチュラが必要とする通気性の高い環境では乾燥して枯れてしまうか、逆に湿度を保とうとして過湿になりカビるかの二択になりがちである²⁰。

- シノボゴケ (*Thuidium spp.*): 比較的丈夫で、半日陰の湿潤環境に適応する。這うように広がり、マット状になるためレイアウトしやすい³¹。
- ホソバオキナゴケ (*Leucobryum juniperoides*): 「山苔(Yamagoke)」として知られる。乾燥に比較的強く、過湿による蒸れに弱い。通気性を確保したタランチュラケージと相性が良い場合がある。ただし、直接水がかかる場所ではなく、湿度が高いが水はけの良い場所を好む²⁰。
- コツボゴケ (*Plagiomnium acutum*): 透明感のある葉を持つが、蒸れに弱く、立ち上げ時にカビが発生しやすいリスクがある²⁰。
- プリザーブドモス: 生きたコケの維持が困難な場合、着色加工された死んだコケ(プリザーブドモス)が利用されることもあるが、高湿度下では染料が溶け出したり、カビの温床になったりする場合があるため、推奨度は低い。

5. ビバリウム構築技術：土壌、ハードスケープ、植栽

植物を長期維持し、タランチュラと共存させるためには、基盤となる土壌 (Substrate) とレイアウト構造 (Hardscape) の設計が不可欠である。

5.1 バイオアクティブ用土 (Bioactive Substrate) の配合

単なるヤシガラ (ココピート) やバーミキュライト単体では、植物の生育に必要な微量元素が不足し、また分解バクテリアの定着も悪い。植物と分解者 (CUC) を維持するための混合土壌を作成する。

表4: 環境別推奨用土配合比率 (例)

環境タイプ	ベース素材	添加材	目的・特性
熱帯・多湿用 (ABGミックス風)	腐葉土 (40%) + ヤシガラ土 (20%) + ピートモス (20%)	炭 (10%) + 樹皮/バーク (10%) + 水苔 (適量)	保水性と通気性を両立。炭は浄化作用とトビムシの住処となる ³⁵ 。
乾燥・半乾燥用 (Terra Sahara風)	赤玉土 (小粒) (30%) + 川砂 (30%) + 腐葉土 (20%)	くん炭 (10%) + 粘土質土壌 (10%)	排水性を重視。崩れにくいトンネルを掘れる構造を作る ³ 。

5.2 分解者 (Clean Up Crew: CUC) の導入戦略

植物の枯れ葉、餌の食べ残し、カビ、タランチュラの排泄物を分解し、植物の栄養 (肥料) へと還元するサイクルを作るために、分解者を導入する。

- トビムシ (Springtails): 必須。カビや微細な有機物を食べる。多湿環境ではシロトビムシ (Tropical White)、乾燥環境では乾燥に強い種 (Arid Springtails) を選定する³。
- ワラジムシ (Isopods): 食べ残しや大きな枯れ葉を分解する。
 - 推奨種: ドワーフホワイト (*Trichorhina tomentosa*) などの小型で柔らかい種。これらは地中に潜り、タランチュラを邪魔しない。
 - 警告: オカダンゴムシ (*Armadillidium* 属) やワラジムシ (*Porcellio* 属) の大型種 (特にタンパク質欲求の強い種) は、脱皮中や卵嚢を守っているタランチュラを襲って食害するリスクが指摘されているため、基本的に避けるべきである³⁶。

5.3 植栽とマウンティング技術 (Mounting Techniques)

特に樹上棲タランチュラのケージにおいて、コルクバークや流木に植物を着生させる技術は重要である。

1. エピファイト (着生植物) の固定: ネオレゲリアやシダ、ポトスなどをコルクに取り付ける際は、根元を少量の水苔 (Sphagnum Moss) で包み、テグス (釣り糸) やアルミ線で固定する。活着する

までは糸で固定し続ける必要がある²³。

2. ポット植えの隠蔽: 地表棲タランチュラの場合、植物をポットから抜かずに、ポットごと床材に埋め込む手法が有効である。これにより、タランチュラの掘削から根を守り、メンテナンス(植物の交換)も容易になる²⁹。
3. 巣への対策: *Chromatopelma cyaneopubescens* (GBB) や *Pterinochilus murinus* のような多糸種 (Heavy Webbers) は、植物を支柱にして大量の巣を張る。植物が巣に覆われて光合成ができず枯れることを前提とし、枯れても構造として残る硬い枝を持つ植物や、成長が早く次々と新芽を出すポトスなどを選定する¹⁹。

6. 維持管理と長期メンテナンス: 光、水、検疫

ビバリウムは設置して終わりではなく、長期的な維持管理が必要な動的システムである。

6.1 照明 (Lighting) の物理学と生理学

植物には光が必要だが、タランチュラは光を嫌う。この相反する要求を満たすための照明計画が必要である。

- スペクトルと色温度: 植物の光合成には青 (450nm 付近) と赤 (660nm 付近) の波長が重要である。観賞性と植物育成を両立させるため、色温度 5000K ~ 6500K (昼光色) の高演色 LED を使用する²⁷。
- 照度 (Lux) と PAR: 一般的な熱帯観葉植物 (ポトスやシダ) は 500 ~ 1500ルクス程度の低 ~ 中光量で維持可能である。強力な植物育成ライト (グロウライト) はタランチュラにとって眩しすぎるため、光量を調整するか、シェード (遮光物) を設ける。
- サーカディアンリズム: 1日 8 ~ 10時間程度の照射サイクルを維持し、夜間は完全に暗くすることで、タランチュラの夜行性活動を妨げないようにする⁷。

6.2 灌水 (Watering) と湿度管理

「湿度が高い」と「濡れている」ことは同義ではない。タランチュラビバリウムの失敗の多くは、過剰な散水による土壌の嫌気性腐敗 (根腐れ・蒸れ) である。

- ピンポイント給水: 全体に霧吹きをするのではなく、シリンジや水差しを用いて、植物の根元だけに水を注ぐ。これにより、床材の表面は乾いた状態 (タランチュラが好む) を保ちつつ、植物の根には水分を供給できる⁴。
- 排水層 (Drainage Layer): 熱帯系ケージでは、床材の下に軽石やハイドロボールを敷き、鉢底ネットで仕切ることで、余分な水が溜まるスペース (排水層) を作る。これにより、土壌の過湿を防ぎ、根腐れを防止する³。乾燥系ケージでは排水層は必須ではないが、過剰給水時の保険として設けることもある。

6.3 必須のバイオセキュリティ: 検疫 (Quarantine) プロトコル

市販の植物をそのままケージに入れることは、農薬、肥料、害虫 (ハダニ、カイガラムシ、ナメクジ、

線虫)を持ち込む最大のリスク要因である⁴²。以下の手順を徹底する。

1. 完全洗浄: 根を傷つけないよう注意しながら、購入時の土を完全に洗い流す。根に付着した化学肥料の粒なども除去する⁴⁴。
2. 消毒(Dip処理):
 - 漂白剤浴: 水9:家庭用漂白剤1(約5~10%濃度)の溶液に、植物の葉と茎(根は除く、または短時間)を数分間浸す。その後、残留塩素がなくなるまで流水で徹底的にすすぐ⁴²。
 - 炭酸水/クエン酸: マイルドな洗浄として、害虫を気絶させ洗い流すために使用されることもある。
3. 養生期間: 洗浄した植物を、新しい安全な土に植え替え、別の容器で最低2週間~1ヶ月管理する。この間に植物が枯れないか、新たな害虫が発生しないかを確認してから、本番のケージに導入する⁴³。

7. 結論: 共生へのアプローチ

タランチュラ飼育における植物の導入は、単なる視覚的な満足を超え、飼育環境の質を根本から向上させる可能性を秘めている。植物は湿度を安定させ、空気を浄化し、タランチュラに安心感を与える。しかし、その成功は「タランチュラの生理生態」と「植物の生理生態」の双方を尊重し、妥協点を見出す飼育者の技術に依存している。

本報告書の分析に基づく主要な提言は以下の通りである:

1. 生息地再現(Habitat Replication)の徹底: 熱帯雨林種にはポトスやシダを、乾燥地種にはサンスベリアやハオルチアを選定し、決してミスマッチな環境を強いないこと。
2. 安全性の最優先: 棘のある植物、有毒植物、農薬汚染された植物を徹底的に排除し、検疫プロトコルを遵守すること。
3. 生態系の構築: 植物単体ではなく、適切な床材と分解者(トビムシ等)を含めた「システム」としてビバリウムを設計すること。

植物が繁茂し、その陰でタランチュラが自然な振る舞いを見せるビバリウムは、アラクノカルチャーの到達点の一つと言える。本報告書が、より豊かで持続可能な飼育環境の構築に寄与することを願う。

表5: 主要タランチュラ種と推奨植物・環境マトリックス

タランチュラ種名	生態区分	環境タイプ	推奨植物(ベストプラクティス)	レイアウトの注意点
アンティルピンクトウ	樹上棲	熱帯・多湿・高通気	ポトス、フィロデンドロン、小型ネオレゲリア	通気性を最優先。植物で通気口を塞がない。

(<i>Caribena versicolor</i>)				縦方向のレイアウト。
ゴライアスバー ドイーター (<i>Theraphosa blondi</i>)	地表棲	熱帯・高湿度	アスプレニウム、マドカズラ、 強健なシダ	巨大な体による踏みつけに注意。植物は隅や壁面に配置し、中央は空ける。
グリーンボトル ブルー (<i>C. cyaneopubescens</i>)	半樹上・地表	乾燥・多糸	エアプランツ、ドライウッド、枯れ枝	大量の糸を張るため、植物は生きている支柱として割り切るか、ドライ素材を主にする。
メキシカンレッド ニー (<i>Brachypelma hamorii</i>)	地表棲	乾燥・半乾燥	サンスベリア、ハオルチア、ガステリア	掘り返し対策として、植物の根元を石で囲うか、鉢ごと埋める。
コバルトブルー (<i>Cyriopagopus lividus</i>)	地中棲	熱帯・多湿	ポトス(地表被覆)、シダ類	深い土が必要。植物は地表の乾燥を防ぐカバーとして機能するが、巣穴を壊さない位置に植える。

引用文献

1. TOP 10 Mistakes Keeping Tarantulas DON'T DO THIS!, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thetarantulacollective.com/tarantulainfo/mistakes>
2. Best Reptile-Safe Plants: 10 Top Choices for a Healthy Habitat, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.reptilecentre.com/blogs/reptile-blog/best-reptile-safe-plants>
3. Can I create an arid bioactive setup? - Swell Reptiles, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.reptiles.swelluk.com/help-guides/can-i-create-an-arid-bioactive-setup/>
4. Yes, You CAN Have an Arid Bioactive Setup! - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、

- <https://www.thebiodude.com/blogs/how-to-setup-a-bioactive-vivarium-terrarium-or-paludarium/yes-you-can-have-an-arid-bioactive-setup>
5. How do I setup a Terra Aranea Bioactive Terrarium? - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/blogs/how-to-setup-a-bioactive-vivarium-terrarium-or-paludarium/how-do-i-setup-a-terra-aranea-bioactive-terrarium>
 6. 30 Top Low-Light Indoor Plants for Easy Care and Beauty - Gardenia.net, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.gardenia.net/guide/top-low-light-indoor-plants-for-easy-care-and-beauty>
 7. Bioactive Haven for Tarantulas: The Ideal Setup, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://onebioactive.com/pages/creating-a-bioactive-haven-for-tarantulas>
 8. Non-Toxic Plants For Pets (an A-Z guide to pet friendly plants) - Animal Emergency Service, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://animalemergencyservice.com.au/blog/non-toxic-plants-for-pets/>
 9. This Is One Of The WORST Things You Can Put In Tarantula Enclosures, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.tarantulaheaven.com/the-worst-things-you-can-put-in-tarantula-enclosures/>
 10. Nontoxic Plant List - Virtual Lab School, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.virtuallabschool.org/fcc/learning-environments/lesson-3/act/20376>
 11. Toxic vs. Non-Toxic Succulents for Pets, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://succulentsbox.com/blogs/blog/toxic-and-non-toxic-succulents-for-pets>
 12. Can I put some cactus's into my spiders terrarium? : r/tarantulas - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/l8wm03/can_i_put_some_cactuss_into_my_spiders_terrarium/
 13. イメージをガラリとくつがえす！おしゃれで育てやすい！種類も豊富で皆様にピッタリが見つかる「サンセベリア(サンスベリア)」のご紹介 - 赤塚植物園, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.jp-akatsuka.co.jp/brand/sanseveria/index.html>
 14. Why Your Tarantula Enclosure Should Have Fake Plants Instead Of Live Ones, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.tarantulaheaven.com/why-your-tarantula-enclosure-should-have-fake-plants-instead-of-live-ones/>
 15. Is this water dish too big? could my Tarantula drown/die from falling? (btw the dish is a little bigger but I submerged it in dirt a bit so they could reach it easier - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/1clq57e/is_this_water_dish_too_big_could_my_tarantula/
 16. An arboreal spider protects its offspring by diving into the water of tank bromeliads, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://comptes-rendus.academie-sciences.fr/biologies/articles/10.1016/j.crv.2018.02.002/>
 17. ビビッドカラーがお部屋を彩る！「ポトス」は色彩で楽しんで <おすすめ5品種> | Domani, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://domani.shogakukan.co.jp/586895>

18. Safe Plants | Reptiles Reptropolis, 1月 17, 2026にアクセス、
https://reptilesreptropolis.com/safe_plants/
19. Plants for arachnids, tropical and desert - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/collections/plants-for-arachnids-tropical-and-desert>
20. イモリのビバリウムの植物色々 : トモのイモリ記録, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://tomo-imorium.blog.jp/archives/12865225.html>
21. Top Ten Low Light Terrarium Plants - Pistils Nursery, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://pistilsnursery.com/blogs/journal/top-ten-low-light-terrarium-plants>
22. Bioactive Tarantula Enclosure Kits - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/collections/tarantula-terrarium-kits/tarantula>
23. Creative ideas for attaching plants to cork bark? : r/bioactive - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/bioactive/comments/1kif2hr/creative_ideas_for_attaching_plants_to_cork_bark/
24. Safe Plants for Decorating Reptile Enclosures - The Tye-Dyed Iguana, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://thetyedyediguana.com/blog/safe-plants-for-decorating-reptile-enclosures/>
25. サンスベリア・サムライドワーフの育て方 | 観葉植物・お花の通販 AND PLANTS (アンドプランツ), 1月 17, 2026にアクセス、
<https://andplants.jp/blogs/magazine/sansevieriaehrenbergiisamuraidwarf>
26. List of non-toxic plants for your terrarium - LLLReptile, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.lllreptile.com/articles/2-list-of-nontoxic-plants-for-your-terrarium>
27. Vivarium Lighting 101 - Everything you need to know, to grow plants in a live vivarium, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.neherpetoculture.com/vivariumlighting101>
28. Need recommendation on which species that won't bother the plants too much : r/tarantulas, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/1hermp7/need_recommendation_on_which_species_that_wont/
29. Planted bioactive enclosure for a fossorial species. : r/tarantulas - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/sr3xpf/planted_bioactive_enclosure_for_a_fossorial/
30. 苔テラリウムにおすすめのコケ6選 | 苔テラリウム専門サイト - 道草michikusa, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.y-michikusa.com/blog/blog/413/>
31. 【苔の育て方】水やりは毎日必要? 植え方と増やし方を詳しく解説 - GreenSnap STORE, 1月 17, 2026にアクセス、
https://greensnap.co.jp/columns/grow_moss
32. 明るさと湿度の環境別、苔(コケ)の種類と育て方ガイド - LoveGreen, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://lovegreen.net/moss-terrarium/p230112/>
33. Terrarium Moss: Our Expert Guide to Selection, Display, and Care, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://ome.design/blogs/guides/terrarium-moss-expert-guide>
34. ホソバオキナゴケ - 苔むすび, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://kokemusubi.com/kokeko/4759/>

35. Building Bioactive on a Budget - Enclosures & Setups - MorphMarket Reptile Community, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://community.morphmarket.com/t/building-bioactive-on-a-budget/49694>
36. What plants for a bioactive enclosure? : r/tarantulas - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/1lzyuh9/what_plants_for_a_bioactive_enclosure/
37. How to mount plants on cork bark #houseplants - YouTube, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.youtube.com/shorts/kZ6ulqJFtM0>
38. Plants in tank : r/tarantulas - Reddit, 1月 17, 2026にアクセス、
https://www.reddit.com/r/tarantulas/comments/1jovmfc/plants_in_tank/
39. Vivarium Lighting...Explained – The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/blogs/client-handouts/vivarium-lighting-explained>
40. TerraSky - Exo Terra, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://exo-terra.com/products/lighting/plant-lights/terrasky/>
41. Long-Term Maintenance of Bioactive Habitats: What You Need to Know - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/blogs/how-to-setup-a-bioactive-vivarium-terrarium-or-paludarium/long-term-maintenance-of-bioactive-habitats-what-you-need-to-know>
42. 1月 17, 2026にアクセス、
[https://www.thebiodude.com/blogs/live-plants-mosses-and-growing-guides/how-to-clean-plants-before-adding-them-to-your-vivarium#:~:text=Disinfect%20the%20plant.,peroxide%20to%201%20part%20water\).](https://www.thebiodude.com/blogs/live-plants-mosses-and-growing-guides/how-to-clean-plants-before-adding-them-to-your-vivarium#:~:text=Disinfect%20the%20plant.,peroxide%20to%201%20part%20water).)
43. How to Clean Plants Before Adding Them to Your Vivarium - The Bio Dude, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.thebiodude.com/blogs/live-plants-mosses-and-growing-guides/how-to-clean-plants-before-adding-them-to-your-vivarium>
44. Vivarium Plant Processing Procedure - NEHERP, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.neherpetoculture.com/plantprocessingprocedures>
45. How to Quarantine Terrarium Plants for Reptile Enclosures - Zen Habitats, 1月 17, 2026にアクセス、
<https://www.zenhabitats.com/blogs/reptile-care-sheets-resources/how-to-quarantine-terrarium-plants-for-reptile-enclosures>